

公益社団法人化学工学会
粒子・流体プロセス部会 2023 年度 第 1 回臨時幹事会 議事録

日時：2023 年 9月4日（月） 9:00~10:01

場所：Zoom

出席者（敬称略）：寺坂、三角、太田、立元、藤本、岩崎、長津、伊奈、仁志、松隈、押谷、
鈴川、古川、渡邊

欠席者（敬称略）：安藤、春藤、島田、坂倉、桑木、藤岡

議題

<確認事項>

1. 前回幹事会（2023 年 3 月 15 日）議事録の確認 （資料 1）
特に指摘なく確認された。

<報告事項>

1. 化学工学会シーリング制度発効と分科会配分金 （資料 2&3）（部会長・寺坂）
本年度より化学工学会が開始したシーリング制度に伴う本部会への影響について部会長より説明がなされた。本年度 9 月に部会財産のうち 569,200 円(=A2、部会負担金含む)が本部に移管される。一方、本年度の本部からの交付金は 587,500 円 (=A1) なので相殺された部会収入は 18,300 円となる。最低限必要な部会事務局費として 313,391 円 (=C) を計上すると、差し引き(=A1+A2-C)は△295,091 円の赤字となるため、部会から分科会への**交付金配分は 0 円**になる。
- 2.化学工学会本部からのシーリング制度説明会 （部会長・寺坂）
部会長より、2023 年 8 月 31 日（木）16:00 に開催された化学工学会事務局長三谷誠氏による本部会幹事対象説明会が報告された。

<協議事項>

1. シーリング制度による本部への財産移管にともなう分科会から部会事務局費補填 （資料 3&4）（部会長・寺坂）
化学工学会シーリング制度(資料 2)により、部会から分科会への交付金配分は 0 円になるため、本年度の部会事務局費不足分を各分科会から**赤字の補填**をお願いしたい。各分科会の会員数比率による負担案（表 1（資料 3 の抜粋））が部会長より提案された。これについて異論は無かったが、各分科会に持ち帰っていただき次回 9 月 11 日の定例幹事会を目途に意見やコメントをメール等でいただきたい。

表1 2023年度予算配分(赤字負担)

① 分科会名	2023年度配分額
熱物質	-54,661円
ミキシング	-64,273円
気液固分散	-59,787円
流動層	-54,501円
粉体プロセス	-61,870円
部会事務局費	313,391円
相殺された部会交付金	18,299円

なお参考のため、2024年度以降の配分額（本部への移管による）を赤字にしないためのシミュレーションを資料4に示した。

シーリングのルールは、「 $1.5 \times$ （過去3年間の部会事業の総支出額平均値）」ですので、

$$\text{遊休財産} - 1.5 \times (\text{過去3年間の部会事業の総支出額平均値}) > 0$$

になると本部からの配分は0円になり、部会経費を差し引くと赤字になります。したがって赤字回避のためには、

- (1) 各分科会所有の基金以外の貯蓄を削減→可能なかぎり会員への還元
- (2) 各分科会の活発な事業による支出の増大→最低でもCovid-19以前ベースへが必要になる。

・仁志副部長より、「部会負担金は今後どうなるのか、三谷事務局長に確認してほしい。」との質問があった。「今年度については、シーリングによる移管と、部会負担金による移管のダブル徴収する」との化学工学会本部の回答であった。この妥当性について引き続き改善してもらうように交渉をすすめる。

・三角先生より、シーリングに使用する総支出の過去3年平均値算出に用いる年度として、コロナによる支出減の影響が残っていた「2022年度」を除外してほしいとの要望があった。引き続き本部と交渉する。

・鈴川先生より、部会のシーリングデータだけでなく、5分科会毎のシーリング目安の参考値が欲しいとの要望があった。事務局で計算を行い後日報告する。

・三角先生より、熱物質流体分科会では、これまで懇親会費を予算計上していなかったため遊休財産と総支出のバランスがわるかった。そこで今後は懇親会費を事業費として支出したいとのコメントがあった。部長より、本部会では懇親会や交流会の開催により会員相互の情報交換が期待できることから公益性は極めて高いと評価でき、全分科会においても積

極的に懇親会を開催して事業費の支出と貯蓄の削減を行ってほしい旨が述べられた。

<承認事項>

以下、1と2についてとくに異論はなく、幹事会承認とした。次回の総会で承認されれば発効となるのでもし修正案があれば随時部会長までに連絡いただきたい。

1. 「粒子・流体プロセス部会」規約（第5条、第11条、第14条、第15条、第16条）の見直しについて （資料5）（部会長・寺坂）

昨年度より既に採用されています部会事務局の運用実態に合うよう部会規約（第5条、第11条、第14条、第15条、第16条）の改正を提案します。本幹事会で承認されましたら、粒子・流体プロセス部会規約第19条により、次回総会の承認をもって規約の改正を行います。

表1 部会規約の現状と改正案

部会規約（現状）（抜粋）	部会規約 改正案（赤字部分）
第5条 入会および退会は会員種別ごとに次の通りとする。	同左
1) 法人会員、部会特別会員A、部会特別会員B、法人特別会員の入会および退会は書面または電子メールにより本会の事務局に提出するものとする。本会事務局は新規入会、変更、退会について把握し、部会名簿とメーリングリストを更新するとともに、幹事会にて報告を行う。	1) 法人会員 、部会特別会員A、部会特別会員B、法人特別会員の入会および退会は書面または電子メールにより 本会分科会 の事務局に提出するものとする。 本会事務局は新規入会、変更、退会について把握し、部会名簿とメーリングリストを更新するとともに、幹事会にて報告を行う。
2) 個人会員、学生会員の入会および退会は本部の部会入会申込みのページから行うものとする。本会事務局は個人会員、学生会員の新規入会、変更、退会について本部から送られる会員名簿に基づき把握し、部会名簿とメーリングリストを更新するとともに、幹事会にて報告を行う。	2) 個人会員、学生会員の入会および退会は 化学工学会所定のサイト（2023年度現在、化学工学会マイページ） から行うものとする。 法人会員の入会および退会は書面または電子メールにより本部に提出する。
2. 会費の滞納が2年以上におよぶ会員は会員の資格を放棄したものとみなす。	削除
第11条 部会幹事会は部会長、副部会長、監事、幹事により構成し、必要に応じて部会長が召集する。	同左
1) 会の設置および継続に関する事務	同左

2) 会員の入退会	削除
3) 化学工学会との連絡	2) 以下同じ
4) 事業計画、予算および決算案の立案	3) 以下同じ
5) 分科会正副代表の選出および分科会幹事の承認	4) 以下同じ
6) 次期部会長候補者の選出	5) 以下同じ
7) その他、本会の運営と事業の執行に必要な事	6) 以下同じ
第 14 条 経理は化学工学会との連結決算とする。	同左
2. 本会の運営に必要な経費は、会費、本部からの部会交付金、寄付金、受託研究費および事業収入を以ってこれにあてる。	同左
3. 部会活動で収益が出た場合、当期収支差益の10%を本部へ上納金として納める。ただし、収支計算においては前期繰越金を収入サイドに算入しない。	本部のルールを確認中
4. 受託研究の受け入れに伴う経費の扱いは、その事実が発生した時点で、幹事会で協議の上決定する。受託研究の余剰金は次年度へ繰り越しできる。	3. 以下同じ
第 15 条 会費は次のように定める。	同左
1) 個人会員および学生会員：無料	同左
2) 法人会員：年額 1 口 25,000 円、1 口以上	同左
3) 部会特別会員 A：年会費 2,000 円 B（化学工学会非会員）：年会費 3,000 円	3) 部会特別会員 A（化学工学会法人会員）：年会費 2,000 円 B（化学工学会非法人会員）：年会費 3,000 円
4) 法人特別会員（化学工学会非法人会員）：年額 1 口 25,000 円、1 口以上	同左
第 16 条 部会事務局は下記の事項を所掌する。	同左
1) 会員の入退会手続と会員名簿の管理	削除
2) 法人会員、部会特別会員 A（化学工学会非会員）、部会特別会員 B（化学工学会非会員）および法人特別会員（化学工学会非法人会員）の会費請求と会費徴収	削除
3) 部会交付金の受け入れ	1) 以下同じ
4) 部会経理事務全般および分科会への部会費の	2) 以下同じ

分配	
5) 会員への部会情報の伝達、部会ニュースレターの発行	3) 以下同じ
6) 部会を代表する渉外業務	4) 以下同じ
7) その他の庶務一般	5) 以下同じ

2. 「粒子・流体プロセス部会」分科会運営細則（第4条、第8条）の見直しについて

（資料5）（部会長・寺坂）

昨年度より既に採用されています部会事務局の運用実態に合うよう分科会運営細則（第3条、第4条、第8条）の改正を提案します。本幹事会で承認されましたら、粒子・流体プロセス部会規約第19条により、次回総会の承認をもって規約の改正を行います。

表2 分科会運営細則の現状と改正案

分科会運営細則（現状）(抜粋)	分科会運営細則 改正案（赤字部分）
第3条 分科会の会員は個人会員、学生会員、法人会員、部会特別会員 A（化学工学会非会員）、部会特別会員 B、法人特別会員（化学工学会非法人会員）で構成される。それぞれの会員の規定は部会規約第4条に述べたとおりである。	第3条 分科会の会員は個人会員、学生会員、法人会員、部会特別会員 A（化学工学会法人会員）、部会特別会員 B（化学工学会非法人会員）、法人特別会員（化学工学会非法人会員）で構成される。それぞれの会員の規定は部会規約第4条に述べたとおりである。
第4条 分科会への参加および脱退は書面により本会お事務局に提出し、部会幹事会で承認を得るものとする。	第4条 分科会への参加および脱退は化学工学会所定のサイト（2023年度現在、化学工学会マイページ）で行うものとする。
第8条 分科会活動は部会からの分科会分配金と分科会が企画する事業の収入などによって行う。	同左
2. 分科会分配金は、部会費（本部で控除された手取り部会交付金）から部会事務局費を差し引いた残額を、各分科会会員数による按分額として支給される。	同左
	3. 予算配分に使用する分科会名簿は“当該年度6月1日付”とする。6月2日以降の新規入会者人数は次年度の6月1日に反映させる。
3. 会員（部会特別会員 A、B、法人特別会員を除く）が複数の分科会に参加を希望した場合は、参加する分科会に会費を按分する。	4. 以下同じ

<p>4. 分科会決算が欠損を出した場合、分科会は借用願及び返済計画を幹事会に提出し、その議を経て、部会会計より借入れを行うことができる。ただし、借入れが二期以上にわたる場合、当該問題の処置は総会の議を経て行う。</p>	<p>5. 以下同じ</p>
--	----------------

3. 分科会会員へのメール配信（メルマガ配信機能）について （部会長：寺坂）

現状、部会及び分科会のメール配信（添付ファイル不可）は、化学工学会本部の会員管理システムを利用しています。その管理権限を分科会のみには細分化できないため、使用権限は部会事務局のみとなっている。しかし分科会事務局でメール配信など会員管理システム使用のご要望が多いので、各分科会から1名をメール管理委員として部会事務局員として登録し、会員管理システムの使用権限を付与することが承認された。なお部会事務局員の任期は部会長と同じとし、交代のたびに管理パスワードを変更することとした。追って各分科会より**部会事務局員(分科会メール担当)**を任命頂ければ実働を開始する。

仁志副部会長より、分科会所属の法人会員からの「最近連絡が来なくなった」との問い合わせがあるので、昨年来分科会名簿の MyPage への移行にともない同様のことが起きている可能性があるとのことの辺りのフォローが必要とのコメントがされた。

4. シンポジウム賞について （資料 6-1,6-2）（鈴木先生、仁志先生）

以下について、鈴木先生・仁志先生から説明があり承認された。

（1）奨励賞について

奨励賞に対し2名の応募。両名とも SY-54（粉体プロセスの進展 2023）の同じ時間帯

（第1日 13:00～14:40 座長：三野 泰志・吉田 幹生）での発表なので、下記の手続きを進める。

1. SY-54 オーガナイザーまたは粉体プロセス分科会により3名以上の審査員を選出
2. 当日審査
3. 結果（奨励賞受賞者候補者：1名）のご報告
4. 幹事会承認

（2）プレゼンテーション賞について

セッション毎に下記の審査対象者がおり、通例通り審査対象者5～6名に対して受賞者1名を選出として最大受賞者数を設定する。

セッション	審査対象者数	最大受賞者数
SY-52 熱物質流体工学の最前線 2023	17名	3名
SY-53 流動層の最前線 2023	8名	1名

SY-54 粉体プロセスの進展 2023	13 名	2 名
SY-55 気泡・液滴・微粒子分散工学 2023	6 名	1 名
SY-56 ミキシング技術の最前線 2023	19 名	3 名
合計	63 名	10 名

<報告事項>

下記について、本臨時幹事会では時間の関係で、次回の定例幹事会に持ち越しとした。各担当者には準備をお願いしたい。

1. **HP リニューアルの進捗状況** (事務局・藤岡)
 HP リニューアルに向けてアプライド（株）に HP 制作を依頼しています。見積りでは 12 ページの完成で税込 241,700 円です。9 月～リニューアルの見込みです。
 またリニューアル後はアプライド（株）に更新作業代行保守プラン（税込 43,780 円／1 年間、月 2 回ペース）で運用する予定です。
2. **部会賞進捗状況の報告**
 - ・シンポジウム賞 (福岡大・鈴川)
 - ・動画賞 (東京農工大・長津)
 - ・技術賞 (大阪公立大・岩崎)
 - ・フロンティア賞 (室蘭工大・藤本)
3. **ニュースレター進捗状況** (横浜国大・三角)
4. **2023 年度部会セミナー実施内容および準備内容の確認** (福岡大・松隈、太田副部会長)
5. **「第 11 回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」準備状況**
 (出光興産・坂倉、太田副部会長)
6. **2023 年度 | 部会 CT 賞 | 候補者推薦のお願い** (寺坂部会長)
7. **各分科会報告** (各分科会代表)
 もしあればご報告お願いいたします。
8. **その他**

以上